

## なんちゃって農業女子(笑)

No.19

ご無沙汰しております。今回お話する野菜は、おそらく去年も報告した「ハヤトウリ」です。「隼人瓜」の写真が①です。隼人とは薩摩隼人のはやとです。原産国は熱帯アメリカだそうです。昨年同様、我が家の畑では現在ハヤトウリの最盛期で毎日20個ほど収穫でき、我が家だけでは食べきれないので配りまくって皆さん喜んで頂いております。(笑)

収穫は簡単で楽しいので、職場で利用者様とも栽培したいと思って、職場の畑でも植え付けしたのですが、残念ながら職場の畑では育ちませんでした。知り合いの話では、他の農家さんも「今年は暑すぎてハヤトウリが不作だ」とおっしゃられているようなのに我が家の畑では、今年も豊作です。不思議・・・

栽培そのものはとても簡単ですが、とにかくツルがどんどん伸びて恐ろしいほど場所をとるので、栽培スペースが必要です。私は超自然栽培の実力を発揮して(単なる放置)ハヤトウリの思うままにツルを伸ばしているのが良いのかもしれませんが・・・。写真②

おそらく今年は100個どころか200個以上収穫できるかもしれません。私の友達が鹿児島県霧島市隼人という地名の所に住んでいるので、ハヤトウリの話したら、「確かに昔はこの辺りが産地だったようだが、最近は作



ってないみたい」とのこと。それを聞いて「隼人にハヤトウリを送る」ことにしました。(笑)

丁度この原稿を書いている時に、鹿児島から連絡があって「ハヤトウリが鹿児島の隼人に着いた」そうです。我が家の畑ではまだまだ大量に隼人瓜栽培中ですので、食べてみたい方、ご連絡下さい。保存もききます。ノンカロリーで、血糖値を下げたり、血圧を下げたり、万能野菜なのでぜひ流行らせたいです。

今年豊作だったのは、もう一つ「紫芋」これも、沖縄が産地です。色はきれいですが、甘みが少ないので餡にして「紫芋ぼた餅」にしたりして食べました。暑い国の野菜が豊作だった今年。冬は超寒いらしいけど・つづく  
(文・写真 へそくん)



- ✎ なんちゃって農業女子(笑) 19
- ✎ 言いたい放題! アッキー28号 (56)  
あまのがわのおしこの木
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介  
医療を題材にしたマンガ!
- ✎ 原発賠償関西訴訟第36回期日の報告
- ✎ うたかた話 (26) 古文(随筆)関係 (3)
- ✎ 65年前の「共に学ぶ」実践 一年生のこうちゃん
- ✎ 今月の五行歌 ✎ イベント紹介/会計報告

### 「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



私の家の近くに天野川(あまのがわ)という川が流れている。源流は奈良県生駒市の生駒山地。四条畷市、交野市を通り、北西に流れて、枚方市で淀川に合流する一級河川だ。

枚方・交野のこの流域はかつて「交野ヶ原」と呼ばれ、桜の名所として、平安貴族の狩場として知られていた。当時の貴族はこの川の川砂が白く光って見えることから天上の天の川になぞらえ、「セタ」を題材にした数多くの歌が詠まれた。……などと市のホームページに説明がなされている。

ちょうどうちのあたりで、この川を横断して国道一号線が走っている。うちからだとして高いところにある国道には段差のある坂道が通じていて、自転車やバイクなら押し上って国道に出ることが出来る。そしてすぐ左手の橋のところにある交差点を渡り、川沿いの道路を行くと、左の方に市役所などのある市の中心部が見えてくる。

川の堤防の上を走るこの道路は府道で、道路の脇には桜の木々が植えられている。桜の季節はずっと向こうの方まで川沿いにピンクの雲が続くようになかなかの壮観だ。

花の季節でなくても、川沿いのこの道路を自転車で行くのは気持ちがいい。市役所の近くに私の通っていたヨガの教室があり、私はこの道路を通って教室に行っていた。週に一度か二度家事や用事をすませて、さあ、これから自分時間だ!と軽やかな気持ちでペダルを踏む。行く手には遠く北摂の山々がかすみ、振り向けば交野・生駒の山々。夏ならば青空に白い入道雲が浮かんで、吹く風が心地よい。

秋、桜の木が茜色に紅葉する季節にこの道路

言いたい放題! アッキー28号 (56)

あまのがわのおしこの木

を通ると、あ、桜餅の匂い!と思うことがある。調べてみると、桜餅の匂いは塩漬けの桜の葉っぱの香りであり、生の葉から匂いはしない。しかし乾燥したりちぎれたりして死んだ葉の細胞内で化学変化が起こり芳香を発することがあるということだ。

今日は桜餅の匂いが嗅げるかなあ……。秋の深まる頃には楽しみにして家を出る、食いしん坊の私である。

そんな道路に異変が起きたことがあった。正確にいえば、道路の両横におかしなことが起こった。川岸に突き出た木や土手の桜の木の枝に、ある日気がつくと、ぶらりぶらりと、たくさんのビニール袋がぶら下がっていたのだ。袋のなかには黄色がかった液体が入っている。

おしこの木だ。そうに違いない。

ある日には、橋の欄干に黄色い液体の中に茶色の固形物が浮かんだ巨大なビニール袋が結びつけられていた。うわあああ……。

さすがにそれはすぐ撤去されたが、木の枝に結びつけられたビニール袋はしばらくそのままだった。気のせいかな、だんだん数が増えてくるようにも思えた。

誰がこんなことをしたのだろう。堤防の下は高校で、橋の向こうには田んぼが広がっている。では、いちばん疑わしいのは、国道の向こうのうちの地域の住民か。

自治会長が取りはらおうとしたという話もちらと聞いた。「でも、木の上でしょう。危険だし、手が届いたとしても取るのに失敗したりしたら、どんなことになると思う?」そういうわけで、木の枝にぶら下がったたくさん

のビニール袋はそのままどうしようもなく放置されていた。

それにしてもどうやってこれをくりつけたのだろう。ビニール袋に液体を入れ、袋の口をしぼり、ひもをつけ、木の枝にくくりつける。「設置作業」は早朝にでも行ったのだろうか。大変な労力が必要とする作業。それを貫徹するだけの暗い情熱。一体どんなひとがこんなことをしたのだろう。

あまり考えると引きずり込まれるような気がして、途中で考えるのをやめるのだが、道路を通る度いろいろ想像してしまった。

やがて大きな台風がやって来て、川が増水し川辺に生えている木々が倒れたり流されたりした。「野鳥のために必要」と伐採を反対されていた川辺の木々も、危険だからと台風の後皆切り倒された。そして気がつくと、ビニール袋は全てなくなっていた。その後二度と同じことは起こっていない。

私はといえば、仕事に就いて、川べりの道路を自転車で行くことは殆どなくなった。

たまに通ると、ふと思ひ出す。あれは一体なんだったんだろう。たくさんの袋を木々に結びつけたひとは、今元気で暮らしているのだろうか。

(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。『放課後クラブ』『チャレンジ・キッズ』代表  
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>



## STEMz マンガ文庫 蔵書紹介

### 医療を題材にしたマンガ！

医療モノ、警察モノ、時代モノ…、マンガの題材は沢山ありますが、いつの時代も安定的な人気を誇る医療系マンガを紹介します。

全ての病気を体験するなんてできないし、(したくもありませんが👉)医療系マンガを通して知る知らない病気や、障害を通して、医療の世界の奥深さを覗き見してみませんか？

#### インハンド 全5巻 蔵書5巻

著者:朱戸アオ



実在する病原菌やウイルス、寄生虫を取り上げた医療マンガです。変人っぷりを隠そうともしない天才紐倉と、愚痴をいながらもすごいことをサラリとこなしてしまう優秀な助手の高家、役所のお堅〜部署に所属し、任務遂行のために彼らを利用する牧野。3人のプロフェッショナルがあっど驚くトリックを解決していく医療ミステリーです。

病院が出てこない医療マンガです。ストーリーの面白さはもちろんのこと、実在する病原菌やウイルス、寄生虫が人体に及ぼす影響をトリックやミステリーのカラクリにしているところがこの作品の醍醐味と言えそうです。案外身近なところに潜んでいる小さな侵略者たちのパワーに驚くこと間違いなし！

#### リエゾン 既刊10巻 蔵書10巻

原作:竹村優作 漫画:ヨンチャン



心のケアを必要とする子どもたちと、児童精神科医の仕事を描いた作品。自身もADHDだという佐山先生の元にやってきた研修医が、小さな町外れの診療所で、辛い思いをしている患者に向き合いサポートをしていく物語です。

精神病と聞くと鬱くらいしか聞き馴染みはありませんが、精神疾患にはいろいろな種類があることを知りました。

児童精神科と聞くと発達障害のことが思い浮かびますが、発達障害に限らず、見えない障害を抱える人のお困り事を知るのにピッタリな作品です。

#### 19番目のカルテ 既刊5巻 蔵書5巻

著者:富士屋カツヒト



「病理」「産科」「放射線科」、18のスペシャリストが活躍する病院に誕生した、19番目の新領域、「患者を診る」という専門医。それが、総合診療医。物語の中で見た「なんでも治せる」お医者さんに憧れる、3年目の女性医師・滝野は、細分化された専門領域で、それぞれの専門を極めることを是とする医者システムの中で、理想と現実のギャップに悩んでいた。そんな中、滝野の前に、総合診療医・徳重が現れる！

人体に起こる様々なトラブルに、ネットで調べるとわんさか情報がでてきて、結局自分はなんの病気なの？大きな病気の予兆？怖くて寝られない！そんな病院難民増えてるよねという、今のご時世ならではの問題を取り入れた作品です。どこにかかったらいいかわからない、いろんな科にかかってみるも、イマイチ原因がわからない、特定してもらえない。

診断が出ない、良くなる治療法にたどりつけていない状態がいかにもしんどくて危うくて大変なことなのかということがよく分かる作品です。

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)  
[STEMz マンガ文庫]で検索！

## ～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～ 原発賠償関西訴訟第 36 回期日の報告

11月10日(木)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第36回期日が開かれました。これは、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東京電力(以下、東電)に対し、事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員への暮らしの支援を求める裁判です。

前回と同じく傍聴希望者は先着順で、抽選は行われず。午後1時過ぎに裁判所別館玄関前に集まった約40名の傍聴希望者は、原告・弁護団の入廷を見守った後、各々荷物検査を済ませて法廷に入りました。

法廷では、原告から個別原告準備書面を提出。いつもは共通する準備書面を出し弁論していますが、個別の原告の書面になるため、今回弁論は行いませんでした。被告・東京電力からは、共通準備書面35「自主的避難等対象区域の市町村の社会的状況について」及び共通準備書面36「原告準備書面84～87に対する反論」が提出され、被告・国からは、提出なし。裁判官入廷後全員起立・礼をして後、わずか数分でまた起立・礼をして、この日の期日は終了しました。いつも行っている模擬法廷(法廷外企画)は、今回弁論におけるプレゼンがないため、ありませんでした。

期日終了後近くの中之島図書館の3階多目的スペース2で報告集会が開催され、その模様がZoomとYouTubeで配信されました。Zoom参加者は35名(運営側4名含む)、YouTubeライブ配信の視聴者は5名。

報告集会では、原告Iさんの司会で、前に立った9人の原告がそれぞれの思いを語りました。進行協議から戻った弁護士からは、来年春頃から原告の本人尋問及び専門家尋問が始まるとのこと。「そうすると3か月に2回のペースで期日が開催されることになりましたが、皆さん、原告の後ろの傍聴席から支えてください。これからも応援よろ



この日もリアルとオンラインで、報告集会開催

しくお願いします」と原告の呼びかけで集会が終わりました。

報告集会終了後11月にギャラクシー賞奨励賞を受賞した、関西テレビの番組「ザ・ドキュメント もやい 福島に吹く風」に出演した原告二人と共に、番組について語り合いました。9月9日深夜に放映されたこの番組は、福島をアートで伝える「もやい展」にかかわる人たちを追った、約1時間のドキュメンタリーです。番組の最後には、放射能で汚染された住居の解体時、敷地内に最後に残った楓の木の美しい黄緑色の葉と木漏れ日の光が画面いっぱい映ります。感動的なシーンですが、けれど、この美しい楓の木も被ばくしているということ。そこに住んでいた人々の人生が奪われたこと。その土地には、その怒りと悲しみが充満していること。その土地は放射能汚染されているのだということ。そんなことを、映像のなかから私たちは感じ取らなければならない。原発事故は被ばくの問題なのである。そこに住む人々の生き様や絆のすばらしさは尊いが、それとは分けて被ばくの問題を考えないといけないということ。そんなことを共に語り分かち合いました。

原発賠償関西訴訟の次回第37回期日は、大阪地方裁判所で1月19日(木)午後2時開廷予定です。

(文/豊高明枝)



前回は「鴨長明」の「無名抄」と「発心集」について書きましたが今回は「和歌は、人の心を種として、万の事の葉とぞなれりける。世の中にある人、事・業しげきものなれば、心に思ふ事を、見るもの聞くものにつけて、言ひいだせるなり。」と「古今和歌集」の仮名序の初めに書いた「紀貫之」の事を書いてみたいと思います。

昔の歌を研究されている方なら良くご存じだと思いますが、「三十六歌仙」という言葉がよく出てきます。三十六人の歌に長けた方の事ですが、通常は下記の三十六人を言う事が多いのです。その主だった人の名前を書いてみますと、柿本人麻呂、小野小町、伊勢、山部赤人、斎宮女御、清原元輔、大伴家持、紀貫之、猿丸太夫、凡河内躬恒、源順、僧正遍照、紀友則、壬生忠見、在原業平、壬生忠岑、素生法師、他十八人の方々をプラスしまして三十六人の事を言います。その他十八人の方々は略させて頂きましたがそれぞれの方の名前はわかります。

紀貫之は「男もすなる日記という物を、女もしてみむとてするなり。」で始まる「土佐日記」を書いた本人です。此処で何故「土佐日記」を選んだのかそれは彼が土佐守として赴任して後に任期を満了して京へ帰るときのことを日記に書いた事が時を得て認められ、これが平安時代の日記文学や随筆文学の嚆矢になりました。

この「土佐日記」には「渚の院」のことが書かれています。この「渚の院」の事は昔にも書きましたが(LIP 2012年8月号及び10月号の「枚方の歴史」に掲載) 此処には色々なお話があります。「渚の院」のお話は古今和歌集よりも一代前の惟喬親王や在原業平のお話が出て来ます。そして其処には有名な和歌も出て来ます。それらの和歌は古今和歌集にも掲載されています。

日本の最初の勅撰和歌集(天皇が選び、一冊の本に纏められた物を言います)「古今和歌集」は、「古今集」とも言われています。

古今和歌集を作る様に言われたのは紀友則、紀貫之、凡河内躬恒、壬生忠岑の四人です。歌の言葉書きと「仮名序」から考えて紀友則は「古今和歌集」の完成を待たずに亡くなって居るのでは無いかと考えられます。

と云いますのは「古今集卷十六」の838番の詞書きに「紀友則がみまかりける時よめる」として「つらゆき」の歌が掲載されています。

「あす知らぬわが身と思へど暮れぬまのけふは人

こそかなしかりけれ、

839番の「ただみね」の歌には  
「時しもあれ秋やは人の別るべきあるを見るだに恋しきものを、  
と記されています。

ですからこの「古今和歌集」は実質紀友則を除いた三人が作ったのでは無いかと思われれます。

又「万葉集」に続く(「万葉集」は勅撰和歌集ではありません。)和歌集が「古今和歌集」なのです。「万葉集」は今までの和歌、長歌、旋頭歌、等を合わせて作られています。その総てを書いた物で、「古事記」「日本書紀」等も同じですが中国の字を借り

て来て、その発音を利用した「万葉仮名」を使って書かれています。その数4516首に上ります。それを総て読み砕いた人が居られ、我々が読んでも可笑しくない様になっています。万葉仮名を現在の言葉に変

換するという、非常に大変なことで我々では到底出来ることではありません。

「古今和歌集」が完成したのは延喜十三年頃(914年頃)と考えられますので、「かな序文」と併せて万葉仮名では無く現代の漢字になっています。従って判読する必要はありませんが、言葉自体が現代の言葉とは異なりますので解釈する必要があります。解釈する本が多く出ております。従ってそれを読んで頂ければ総てが良く判ると思います。

前にも書きましたが、日本最初の勅撰和歌集がこの「古今和歌集」ですから和歌の世界ではこの「古今和歌集」を中心に物が回っております。日本における和歌を志す人はこの「古今和歌集」から始めるのが普通です。それが証拠に「古今伝授」と良く言われますが「古今和歌集」を中心に勉強したと考えられます。日本の和歌を勉強した事を「古今伝授」と伝えられ、「古今伝授」をされた事が、和歌の大家である事を認めた事になります。それ程「古今和歌集」は値打ちが認められています。

此れ等が総て紀貫之の時代に起こった事であり彼等がそうしたのでは無いとは言え「古今和歌集」の値打ちを下げる事にはなりません。今回は紀貫之を中心にその時代の和歌の世界について書きましたが、次回は又考えます。

今回もPCのWikipedia及び岩波文庫、角川ソフィア文庫等の文庫本のお世話になりました。

「おしまい」  小田川徳男

## うたかた話(26) 古文(随筆)関係 (3)

65年前の「共に学ぶ」実践

## 一年生の こうちゃん 速水英子

桜の花がひらひら舞いはじめると、六十五年前の記念写真を見てしまう。初めて一年生を担当した男の子に深い思い出があるからだ。

入学当初の子供達は純朴で、みんな緊張していた。式が終わり、教室に入った私自身も緊張していた。

「名前を呼びますから大きな声で、ハイ！と返事してください」「ハイ」と一斉に手を挙げて大きな声が返ってきた。次々と名前を呼びながら顔を覚えようと必死だったが、K君のハイが返ってこない。何度も呼びながら見回したが返事がない。

初対面だから、顔と名前が合わなくて困っていたら、「うちの子ですが、家に一人で帰ることはできないのですが……帰ったのか見てきます」お母さんは急いで教室を出ていった。しばらくしてお母さんに手を引かれて戻ってきた。

「こうちゃんの席はここよ」と案内すると、私の顔を見てうなずいた。にこにこ顔のほんわかとした彼は天使のように見えた。

「あしたも先生はここで、みんなを待っているからね」と約束して第一日目が終わった。

帰り際、こうちゃんのお母さんは、「うちの子は言葉も遅くトイレもちゃんとできませんし、字をかくことも何もできませんので、よろしく願いします」と、頭をさげられた。ダウン症でIQは三歳未満と聞いて言葉がでなかった。

こうちゃんの入学式は、一人で帰った記念すべき日になったが、私にとっては四十八名の子供と共に試練のはじまりとなる。

当時は現代の様な支援学校は僅少で、唯一大阪市の養護学校として思齊小学校が有名だったが、全員が入学できるわけでもなく順番待ちを強いられていた。こうちゃんは何時にもにこにこして、一日も休まず登校してきた。素直で穏やかな性質で、すぐにクラスのマスコットの的存在になり、「こうちゃん、こうちゃん」と、女の子に取り囲まれていた。

「給食袋はここよ」「本とノートを出して」「下駄

箱はここよ」と、女の子の優しいお節介は微笑ましくて、教育の原点を垣間見る思いであった。

子供達に教えられることが多く、差別のない明るいクラスになる確信を持った。休み時間にはいつも、のり子ちゃんが世話役になり色々教えていた。そんな或る日「こうちゃん名前が書けたよ」と、みんなで拍手しながら跳び上がっていた。

そのうちに「五十まで数えられたよ」やった、やったと歓声を上げていた子供達は「こうちゃん偉いよ」と興奮して私を呼びに来た。

世話役ののり子ちゃんは三姉妹の末娘で、甘えん坊の女の子だった。こうちゃんがいつも私にくっついているのを見て、少し羨ましくなったのか、「先生、だっこして」と甘えてきた。耳元で「先生、ちょっとだけオッパイさわってもいい？」のり子ちゃんはそっと触った。「先生、もういいから下ろして」と言って、こうちゃんの所へ走っていった。

子供と共に学び育つことを心に深く銘じた瞬間であった。

こうちゃんが入学して三ヶ月が経った。お母さんは毎朝学校に送ってきて、暫く我が子を窓越しに確認していたが、やがてその姿は見なくなった。「こうちゃん、お早う」と言っても、うんと頷いていたが、やっと「おはよう」とオウム返しに言えるようになった。

授業中であれ、子猫のように私にすり寄ってくると、トイレに行きたい信号である。そのうちに「テンテイ、シッコ」と、言える様になる。

「みんな静かにしててね」と言いつつトイレへ急ぐが、ぼくも、わたしも……と数珠つなぎになる集団心理にかかわっていられなくてあわてて走る。急いでつまみ出しておしっこをさせる。最初は戸惑ったが、手際よくできる様になった。

こうちゃんが一番前の座席で至っておとなしく座っている。話し掛けなかったらいつまでも飽きることなく、小さな色紙で千羽鶴を折り続けてい

LIPが選ぶ  
今月の五行歌

屋根の高さに

濃い水平線

漁師町の

急坂を

下る

さなぎ

人はみな

黄葉見上げる

俺もいるぞと

足元に

銀杏真う

浮遊

大阪の銭湯

遊びが多い

各種の湯船やサウナ

まるで小さな遊園地

ゆつくりととのう

二等流

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

(連絡先: akie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

た。誰も真似が出来ないくらい指先が器用で、何か一つ光るものを持っているんだなあ后感心した。

いつも私の行く所に、こうちゃんありの光景は「あひるの親子」と冗談を言われたことがある。職員室まで付いてきた彼を見て、校長は「おい、ぼうず元気か」と声を掛けてくださる。「おっちゃん、だっこ」とせがんで抱かれた時の嬉しい顔は忘れることができない。

最近医学の進歩で、新型出生前診断が、話題になっている。妊婦の血液で胎児のダウン症などの染色体異常がわかる様だ。立場立場で賛否両論はあるが、導入されて一ヶ月で280組が検査を受けて結果の出た100組中、1組が「陽性」だったという。

先日、A新聞の紙上にダウン症の記事があった。「第一子がダウン症で歩くのが遅く、なかなか話せない我が子を受けとめるのに時間がかかったが、だんだん良さがわかってくる。目がきれい癒されるんです」と。

経験を通して人のいたみや気持ちを汲めるようになったという記事に感銘を受けた。

こうちゃんは長男で弟と妹の三兄弟である。妹は兄と同じような障害がうかがわれ、お母さんの大変さを垣間見ることもあった。

一年間の担任だったが、二年生の秋に養護学校へ転校していった。その後の交流はないけれど、還暦を過ぎた今もこうちゃんは人を癒していることだろう。

「おい、ぼうず元気かい」顔に似合わないあの校長の声が、蘇ってきた。

【エッセイサークル・文文 文集『碧』16号(平成26年3月発行)より、許可を得て転載】

約8年前、当時私も所属していたエッセイサークル・文文の文集のなかで、速水英子さんのこのエッセイを読んで、まるで新米教師の体当たりの「共学び」実践の記だと驚きました。

いつかこの文章を紹介したいと願っていたのですが、今、文科省通知で支援学級の在り方が変わるという状況のなかで、ずっと昔にもこんな実践があり、素晴らしい共学びの教育が偶然にも行われていたということを伝えたいと強く思いました。当時の名簿を繰り、速水さんに連絡しましたら、転載の許可を快くいただくことができました。

なお、一行目に出てくる「六十五年前」という言葉ですが、文集のなかでは「五十六年前」となっていました。しかし、今ここに掲載される時点からさかのぼっての年数の方が読んでいて納得できると思い、「六十五年前」に改めています。(LIP編集局 A)



# イベント・サークル・ボランティア情報

## 御殿山キラ星ハンドベルクワイア クリスマスコンサート

- ◆日時：12月16日(金) 19:00開演 (18:30開場)
- ◆場所：枚方市総合文化芸術センター本館 小ホール
- ◆入場無料
- ◆予約無し
- ◆問い合わせ 池之上 090-4901-7854

## 【枚方自閉症児(者)親の会】

今年4月の文部科学省の特別支援学級の通知以来、枚方の発達障害児は、普通に教育を受ける権利をおびやかされています。保護者の混乱も落ち着くことはありません。会員以外の方も自分の思いを話していただければ、これからの生き方のヒントを得られると思っています。どんな立場の方もフリートークで活発に話せる会です。ぜひご参加下さい。

- ◆日時：12月21日(水) 10:00~12:00  
2023年1月11日(水) 10:00~12:00
- ◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム
- ※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929

## ---みんなといっしょに高校へ行きたい---

### 知的障害者を普通高校へ北河内連絡会 12月定例会のご案内

北河内の各市で、4月に出された文科省「通知」を巡って揺れています。各市教委の動きで、保護者は大いに怒りや戸惑い、不信を感じて行動されています。9月には、国連が日本政府に対して「特別支援教育=分ける教育」の中止、文科省通知の撤回などを勧告しました。障害のあるなしに関わらず、「全ての子どもたちは権利の主体である」ことが改めて、私たち一人ひとりに問われていると思います。

以下のように、北河内連絡会は定例会を行います。ふるってご参加願います。お待ちしております。

- ◆とき：2022年12月11日(日) 午後1時半から5時
- ◆ところ：守口市西部コミュニティセンター2階会議室  
守口市文園町8番8号 06-6993-1341 駐車場あり  
京阪滝井駅、土居駅、地下鉄太子橋今市駅から徒歩3分
- ◆内容：①今年の高校受験を巡って情報交換  
②子どもたちの学校や地域の生活を巡って  
③「医療的ケア」の要る子どもたちを巡って  
④高校卒業後の進路と生活、課題  
⑤「文科省通知」各市の状況、「国連権利委員会勧告」を巡って  
⑥その他自由に交流します。
- \*zoom参加も有りです。松森(matumori@crux.ocn.ne.jp)までご連絡をください。
- \*連絡先：松森090-1960-3469 関山090-2599-6162
- \*主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

## 【参加者募集】 放談後クラブ「チャレンジ・キッズ」

子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。そんな思いで集っています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。

- ◆日時：12月9日(金)  
10:30~15:00 (遅刻早退OK、出入り自由)
  - ◆場所：ラポールひらかた4階研修室4
  - ◆参加費：無料
  - ◆問合せ：c-k@love-dugong.net または、  
090-5893-5635 (16時以降 豊高)
- 下記ブログにて、随時情報を掲載しています。  
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>  
(「チャレンジ・キッズ」「アメブロ」で検索してください)



応援ありがとうございます♪

# L I P 応援団

仲澤孝宣さん

## L I P 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
44,012	前号から繰り越し
2,000	寄付
1,020	書籍販売
▼420	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3,990	12月号印刷代
42,122	計(次号へ繰り越し)

# STOP WAR

■わが家のベランダで栽培しているコーヒーの木。今年初めて花が咲いたことは以前書きましたが、いま、実が大きくなってきています！ 直径1cm 近くになりました。まだ緑色ですが、これが真っ赤になるのでしょうか。ドキドキしながら眺めています。(w)

■L I Pは、市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか♪

## 「教育研カフェ」(学習と意見交換の会)のご案内

「ともに学び、ともに生きる」教育実践に学び、考える  
~国連「障がい者権利委員会 日本審査」勧告の内容と意義について~

- ◆日時：12月3日(土) 午後2時~4時30分
  - ◆会場 大阪市立難波市民学習センター (第1研修室)  
JR 難波駅上 OCATビル4階(南海、近鉄、地下鉄「なんば」)
  - ◆資料・参加費 500円
  - ◆(内容) ①講演 濱元伸彦さん(関西学院大学)  
「国連勧告とインクルーシブ教育に向けた今後の課題」  
②学校現場から 大阪市小学校教員  
③質疑と討論
  - ※オンラインでの参加(無料)を併用します。オンラインの申込はQRコードから
- また、お問合せは imae@shore.ocn.ne.jp (井前)まで。



## 枚方コーレん

デビューしちゃう？

【ひらつーパートナー・ライト】

月額 5,610円

詳しくはコチラ➡➡



イラスト 表紙：平井由恵